

平成 28 年度 1 学年理数科 コミュニケーション英語 I シラバス

単位数	3 単位	使用教科書	Element English Communication I (啓林館)
-----	------	-------	---------------------------------------

年間指導計画

学期	月	課	タイトル	評価の観点	文法事項
1	4	※	教科ガイダンス	高校英語の基本的な学習方法を理解し、学習スタイルを身につける。クラスルームイングリッシュを学ぶ。	
		1	Samurai and English	<言語・国際交流>福沢諭吉が英語を学んだ経緯や経験について理解し、自分の英語の学び方について考える	・英語の 5 文型・to 不定詞と動名詞
	5	2	Christian the Lion	<動物・友情>ライオンと人間の絆の物語を理解する。また、自分のペットを飼った経験について話し合う。	・現在完了形・受動態・分詞の限定用法
		Reading Skill 1		主語と述語動詞について学ぶ。	
	6	3	How Asians and Westerners Think Differently	<比較文化・心理>東洋人と西洋人の考え方の違いについて考える。日本人とアメリカ人に向けた 2 種類の広告を作成し、それらの違いを説明する。	・S+V+O (疑問詞節)・関係代名詞
	7	4	Twice Bombed, Twice Survived	<戦争・平和>広島・長崎の二重被爆者、山口さんの平和への思いを理解する。自分の使命とは何かについて考え、意見を文章にまとめる。	・助動詞+受動態・強い要望を表す動詞の that 節における動詞の原形・過去完了形
2	8	Reading Skill 2		フレーズリーディングとは何かを理解する	
		FR1	Lupin Steals Japan?	<ユーモア・メディア>メディアジョークに対する各国の反応を基に、冗談への日本人の受け止め方を考える	
		Listening Skill 1		英語の音を聞き取る	
	9	5	Bopsy	<障害・人間愛>難病の少年と彼の夢をかなえた人々の話を通して、彼らの思いを理解する。自分の夢について考え、まとめ発表する。	・S+V+C (分詞)・S+V (知覚・使役動詞)+O+C・関係代名詞の what
		6	Maria and the Stars of Nazca	<女性・歴史>ナスカの地上絵を守ったマリア・ライの取り組みや思いを理解する。尊敬する人物について情報をまとめ、紹介する。	・関係代名詞の非制限用法 ・形式主語の it
	10	Reading Skill 3		トピックセンテンスの役割について理解する。	
		7	Biomimetics	<科学・環境>バイオミメティクスについて知り、環境問題の解決のために採用された科学技術を学ぶ。環境問題について討論を行う。	・現在完了進行形・関係副詞 ・形式目的語の it
	11	8	The Boy Who Harnessed the Wind	<教育・生き方>風車を作ったアフリカの少年の取り組みの経緯や彼の思いを理解する。地球を救う方法について知っていることを書き出す。	・仮定法過去 ・仮定法過去完了
12	Listening Skill 2		音声変化①弱い発音や発音されない音声変化について学ぶ。		
	FR2	Once upon a Home upon a Home	<物語・人生>積み木のような家に住むおじいさんの気持ちの変化を理解する。		
3	1	9	Gulliver's Travels	<文学>あなたの知らない「ガリバー旅行記」を読み解く。ガリバーとなって巨人の国に行くと想定し、その国の人々が交わす会話を考え書き表す。	・仮定法を含む表現(1)・仮定法を含む表現(2)・seem [appear] to do
		Listening Skill 3		音声変化②繋がる音について判別できるようになる。	
	2	10	Playing the Enemy	<人権・スポーツ>南アフリカの歴史を変えたマンデラと彼のラグビーへの取り組みについて知る。アパルトヘイトについての写真をもとに当時の様子を文章に表す。	・過去完了進行形・進行形の受動態 ・分詞構文
		Listening Skill 4		音声変化③変化する音について理解を深める。	
	3	FR3	Artistic Exchange between Japan and the West	<芸術・国際交流>西洋から学んだ北斎と日本から学んだモネについて知り、日本の西洋の絵画が違いに影響し合ったことについて理委する。	
		1 年英語学習の復習			

到達目標	A (80%以上) B (65%以上) C (40%以上) D (40%以下)	次学期 (次学年に向けての課題)
学期	自己評価	
1 学期		
2 学期		
3 学期		